

報 告

- ◎ [マレーシア国王陛下 森林総合研究所をご視察](#)
- ◎ [第4回つくばテクノロジー・ショーケースへ出展](#)

◎ マレーシア国王陛下 森林総合研究所をご視察

国賓として来日されたマレーシアのサイド・シラジュディン国王陛下が11名の随行員等とともに3月8日（火）、筑波農林研究団地訪問の一環として当研究所をご視察されました。

田中理事長が当研究所の概要を説明した後、沢田研究管理官がマレーシア側研究機関と長年にわたって共同研究を行ってきた成果について紹介しました。次いで、木質耐震実験棟において藤原研究管理官が振動実験施設の説明を行い、木質壁材の耐震性能実験を行いました。

国王陛下からは、持続的森林経営の観点からマレーシアだけでなく東南アジア地域では植林による森林再生が急務であることや、かつて国王陛下が学長を勤められていたマレーシア理科大学と当研究所が緊密な関係で共同研究を行っていることをうれしく思い、今後さらに研究協力が進むことを期待していますとの言葉をいただきました。

約1時間のご視察でしたが、森林総合研究所が行っている研究業務の一端をご理解いただけたのではないかと思います。



田中理事長の出迎えを受けるマレーシア国王陛下

◎ 第4回つくばテクノロジー・ショーケースへ出展

つくばサイエンス・アカデミー主催、当所を含むつくば市内の独法研究機関や大学など26機関が共催となり、1月31日（月）につくば国際会議場で第4回つくばテクノロジー・ショーケースが開催されました。

『シーズ&ニーズの産直・研究フリーマーケット』と題し、独法研究機関・大学・民間企業などから分野を超えた124の出展があり、当所からも、「建築廃材木炭で床下の調湿（構造利用研究領域 森川 岳）」、「スギの培養細胞からクローンスギの作出に成功－花粉アレルギーを作らないスギの開発に期待（生物工学研究領域 伊ヶ崎 知弘）」の2テーマを出展しました。

担当の研究者自らが発表・説明し、約750名の方々が集い、盛会のうちに終了しました。当所のブースにも多くの方々に立ち寄っていただきました。

この催しは、来年度も継続して開催予定でありますので、皆様のお越しをお待ちいたします。



会場の様子